

元気企業！紹介



パイオニア精神で「オンリーワン」を創造

山科精器株式会社(yasec)

代表取締役社長 **大日 陽一郎** さん

山科精器株式会社は1939年、マイクロメーターを製造する「山科精器研究所」として、京都市山科区で創業。独自の技術でFA化に貢献する各種専用工作機械、船舶用や発電プラント向けの熱交換器、産業機械・船舶機関潤滑機器などの製造および販売を続け、大きな実績を残してきた。一方、公的資金を活用しながら研究開発に力を注ぎ、医療分野にも参入し、技術尊重経営・人間尊重経営を経営理念に掲げ、オンリーワン製品の開発・生産に力を入れている。



新製品「エッジナイン」
独自に開発した量産型FA向け商品
ヒット商品となった

難しい機械開発も、チャレンジ精神で克服

— 事業内容を教えてください

創業以来、当社が力を注いできたのは船舶向けの注油器や熱交換器、自動車や船舶向けの工作機械などの開発や生産…つまり、日本が世界に誇る造船や自動車産業の「縁の下」の力持ちをさせていただいてきたという自負があります。

当社が得意とするのは大手メーカーが造る汎用機ではなく、特殊な製品加工に特化した専用機です。毎回新しいものを作るため、課題も多いわけ

です。スピードや精度など、相手の要求基準を満たさなければ、開発に余分な時間がかかってしまいますので、ある程度リスクは覚悟しておかなければなりません。それゆえ、この分野から撤退する企業も少なくありませんが、当社は技術力とパイオニア精神で解決してきました。

公的資金を活用して次々と新製品を開発

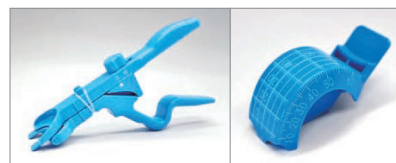
— 医療分野にも新たに進出されてきましたね

創業以来の事業がしっかりしているからといって、新しい分野に挑んでいかなければ明日はないと思っています。2004年から、工作機械の製作で培った細かな加工技術やメカトロニクスの技術を医療分野に応用して医療機器の製造分野に参入しました。すぐには成果が出ないMEMS（微小電気機械システム）



本社工場の内部

山科精器株式会社(yasec)



サポイン事業で開発した開口訓練器(左)と開口度測定器(右)

次世代型開口訓練システムの開発」に取り組み、国の「戦略的基盤技術高度化支援事業(※サポイン事業)」に採択されました。これは、顎関節症の治療に用いる訓練器具と、その効果を確かめるための測定器具の開発です。医療機器の研究開発には時間も費用もかかりますが、これからは補助金を活用して新たな製品の開発に取り組んでいきます。

— 生産性アップのために開発されたモノもありましたね

近年開発してヒットとなった製品に、造船所が鋼材の角の部分の削る「卓上R面取り機」があります。これは造船の手作業を機械化したもので、2011年の販売開始から国内の造船所や関連会社に100台以上売れました。さらに、誰でも簡単に「面取り」や「バリ取り」が出来る新製品「エッジナイン」を開発しました。これは造船だけでなく機械、電機等、幅広い分野で作業効率の大幅改善に繋がるもので、大きな反響がありました。この開発には「滋賀県異分野・異業種連携イノベーション創出支援事業補助金」を受



現場の社員とのコミュニケーションを大切にしている

けることができました。これから、さらにお客さまのFA(ファクトリーオートメーション)化に貢献する各種工作機械の開発に力を入れていきたいと考えています。

滋賀県で事業を営むようになってから既に50年になりますが、県内企業との繋がりが多いとは言えません。FAを通して、県内企業との連携をもっと深めていければと願っています。



蒸気を水に戻す「復水器」
こうした巨大な製品も珍しくない

— 今後の目標は何でしょう

私は昨年、社長に就任させて頂いたばかりの若輩者ですが、これから新たに起業する意気込みで新製品の開発、会社運営、社会貢献に取り組んでいきたいと思っています。また、当社は今年で創業78年を迎えましたので、「yasec(ヤセック)」を世界ブランドにするという夢に向かって、実りある創業100周年を新たな目標にしていきたいと考えています。

Data



山科精器株式会社(yasec)

- ▶ 代表者 / 代表取締役社長 大日 陽一郎
- ▶ 従業員数 / 133名
- ▶ 住所 / 〒520-3001 滋賀県栗東市東坂525
- ▶ 創業 / 1939年
- ▶ 業務内容 / FA化に貢献する各種工作機械、船舶用並びに発電プラント向けの熱交換器、産業機械・船舶機関潤滑機器および医療機器の製造販売
- ▶ TEL / 077-558-2311
- ▶ URL / <http://www.yasec.co.jp>

※サポイン事業

戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)は、デザイン開発、精密加工等の特定ものづくり基盤技術12分野の向上につながる研究開発、試作等の取組みを、国が支援する制度です。滋賀県産業支援プラザでは、本事業に挑戦する企業等のプロジェクト構築から公募申請、および事業管理までの支援を一貫して行っています。

問い合わせ先
(公財)滋賀県産業支援プラザ
連携推進室 ものづくり支援課
担当/熱田 達郎
☎ 077-511-1414
☎ 077-511-1418
✉ shin@shigaplaza.or.jp